

口頭発表 I-4

# 保育者・園長が主体的に学び続けるための 研修・研究・評価への取り組みについて ～学びを止めない～

イーセック

## 【評価チーム・ECEQ®編】

イーセック

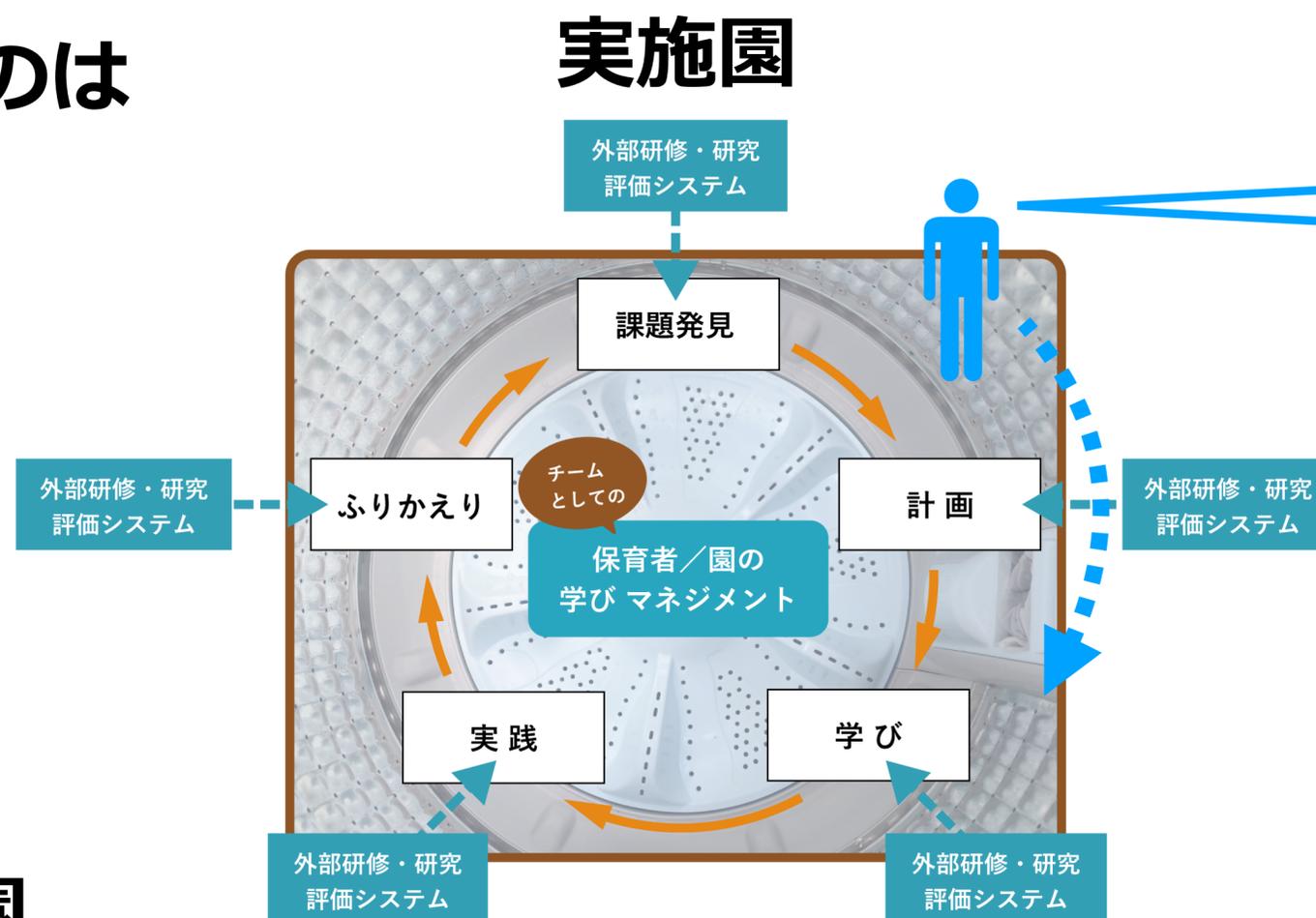
# 【評価チーム・ECEQ®編の概要】



## 大私幼概念図でいくと...

イーセック

### ECEQ®というのは



## ② 他園から来た外部者

イーセック

### =ECEQ®コーディネータ

### が、グルグルを回す支援

イーセック

### をして、ECEQ®中そして

イーセック

### ECEQ®後にもグルグルが

### 回るように援助する

会場：実施園

参加者：実施園スタッフ

→①実施園のグルグルを直接まわす

イーセック

# 【評価チーム・ECEQ®編の概要】

---



## 1. 実施の促進

1-1. 実施数の増加

1-2. ECEQ®コーディネータ数の増加

## 2. 実施の質の向上

2-1. ECEQ®の実施体制の充実

2-2. ECEQ®コーディネータ向けの資料や研修の充実

## 3. 加盟園への周知

実態の記録、および制度の整備 と それらの発信

# 1-1. 実施数の増加 大阪におけるECEQ®の実施状況



**ECEQ®実施園** (17園済 + 2021年度10実施予定)

[https://youchien.com/research/eceq/certification\\_list.html](https://youchien.com/research/eceq/certification_list.html)



	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
1								聖光
2								あけぼのほりえ
3								いまむら*
4						池田すみれ		あけぼの
5						高槻双葉		鳳*
6						東豊中		文の里
7					あけぼの	金田		長池*
8					常磐会短期大学附属 いずみがおか	新光明池		住之江*
9				せんりひじり	彩都敬愛	なな	国際アサンプション	喜連
10	新光明池	庄内こどもの杜	むつみ	ひじりひがし		みさき	念法	みくにひじり*

\*2019年度ECEQ®-Co養成講座受講者所属園

# 1-2. ECEQ®-Co数の増加 大阪におけるECEQ®-Coの現況



## 認定ECEQ®コーディネーター（17名）



[https://youchien.com/research/eceq/tpkv100000016yo-att/coordinator\\_200831.pdf](https://youchien.com/research/eceq/tpkv100000016yo-att/coordinator_200831.pdf)

認定年度	都道府県	氏名	認定番号
平成25年度	大阪府	安家 周一	EH25270032
平成25年度	大阪府	安達 譲	EH25270033
平成25年度	大阪府	西岡 真希	EH25270034
平成25年度	大阪府	平林 祥	EH25270035
平成26年度	大阪府	杉本 圭隆	EH26270091
平成27年度	大阪府	北島 孝通	EH27270156
平成28年度	大阪府	山田 悟史	EH28270210
平成29年度	大阪府	中村 妙子	EH29270245
平成30年度	大阪府	岡部 祐輝	EH30270286
令和元年度	大阪府	安達 かえで	ER01270302

認定年度	都道府県	氏名	認定番号
令和元年度	大阪府	伊藤 桃代	ER01270303
令和元年度	大阪府	岩崎 巧	ER01270304
令和元年度	大阪府	小野寺 敦子	ER01270305
令和元年度	大阪府	田盛 智子	ER01270306
令和元年度	大阪府	藤原 晴子	ER01270307
令和2年度	大阪府	背尾 康裕	ER02270312
令和2年度	大阪府	花畑 直子	ER02270313

**+2019年度 養成講座受講生 5人**（ECEQ®実施してレポート提出すれば認定）

## 1-2. ECEQ®-Co数の増加 大阪におけるECEQ®-Coの募集



- 1園から複数人の参加を推奨 → 1件のECEQ®で複数人のCoを養成できる
- ECEQ®実施済の園からの受講希望者を優先的に受け付ける  
→ 講座IVでのECEQ®の実施が不要
- 受講者は、Co認定を受けた後、依頼を受けたらCoとして少なくとも年1回は活動する旨を養成講座申込時に誓約する → 実働できるCoを確保する
- 申込時に研修ハンドブックの研修一覧ページを提出  
→ 研修履歴の把握。園外で活動できるか実績を確認する
- 受講者の所属園のECEQ®実施申請は優先的に受け付ける

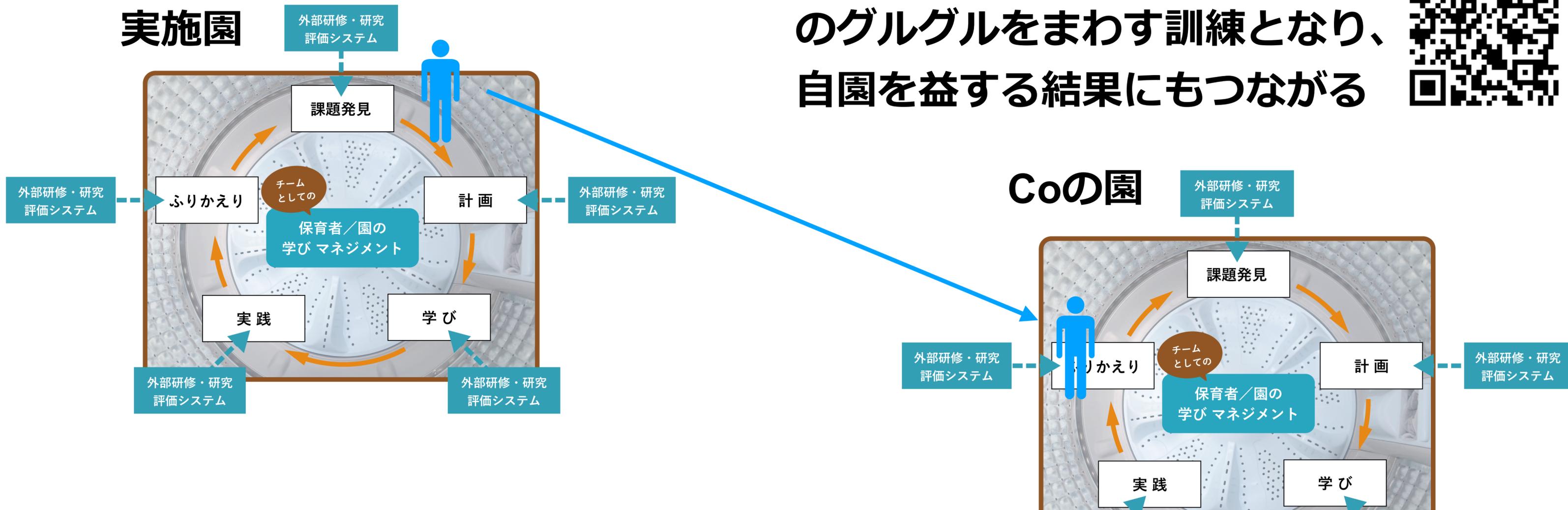
# 1-2. ECEQ®-Co数の増加 大私幼概念図と照合すると



① 実施園のぐるぐるを直接まわす支援をする、  
だけでなく

② ECEQ®コーディネータ自身の園  
のぐるぐるをまわす訓練となり、  
自園を益する結果にもつながる

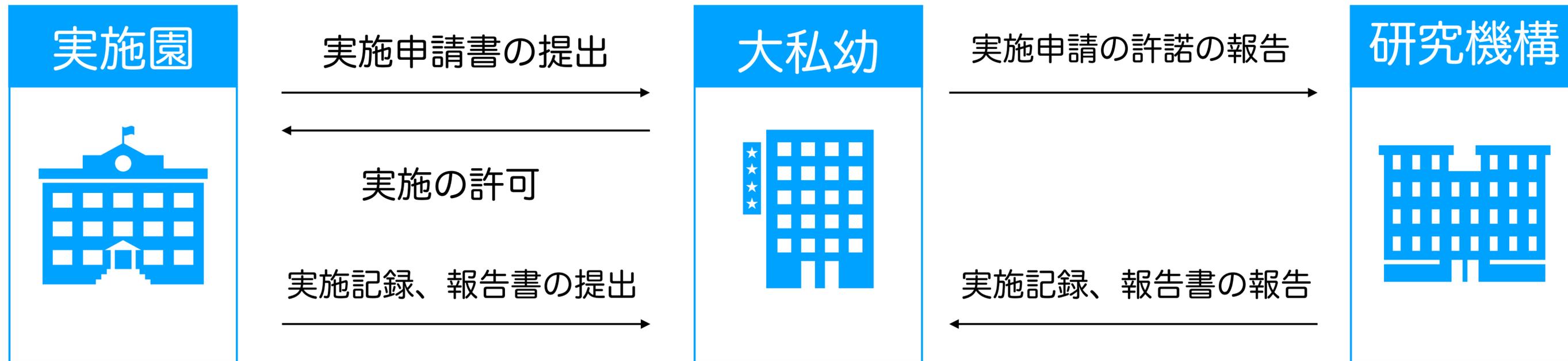
参照



# 2-1. 実施の質の向上 ECEQ®の実施体制の充実



ECEQ®は全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が開発し、運用しています。  
実施の申請や報告書の提出等は、(一社)大私幼が窓口となります。



## 2-1. 実施の質の向上 ECEQ®の実施体制の充実



### ECEQ®の実施の申請（2021年度実績）

11月10日	大私幼がECEQ®申請書を配付
12月14日まで	各園が大私幼事務局にECEQ®申請書を提出
12月19日	ECEQ®実施時期とメインコーディネーターの決定 ECEQ®実施申請の受理の可否の決定
以降	サブコーディネーターの募集と決定
4月～	ECEQ®の実施



# 2-1. 実施の質の向上

## ECEQ®の実施の申請

申込日 年 月 日

**(一社)大阪府私立幼稚園連盟**  
イーセック  
**2021年度ECEQ®実施申請書**

イーセック  
**1. 申請するECEQ®の種別** (該当する□に✓)

① 2019年度ECEQ®コーディネーター養成講座・講座IV 受講者氏名 \_\_\_\_\_

② 2020年度ECEQ®コーディネーター養成講座 受講者氏名 \_\_\_\_\_

③ 自由枠

ステップ  
**2. STEP4/公開保育の実施を希望する月**  
(優先順位の高い月から数字を記入。2, 3月の実施の場合、ECEQ®認証が翌年度4月に間に合わない可能性アリ)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

イーセック  
**3. 希望するECEQ®コーディネーター数**

最少人数(2人)

それより多くを希望 (具体的な人数があれば \_\_\_\_\_人)

3名以上のコーディネーターを希望するのは  STEP1-5を通して  STEP4/公開保育時のみ

イーセック  
希望するECEQ®コーディネーターの氏名 (任意) \_\_\_\_\_

イーセック  
参考 ECEQ®コーディネーター一覧  
[https://youchien.com/research/eceq/tpkv10000016yo-att/coordinator\\_200831.pdf](https://youchien.com/research/eceq/tpkv10000016yo-att/coordinator_200831.pdf)

イーセック  
\*必ずご希望のECEQ®コーディネーターを担当させられる保証はできません。



イーセック  
2021年度ECEQ®申込期限 2020年 12月14日 (月) FAX送信先: 大私幼事務局 (06-6351-5587)

申込日 年 月 日

**5. 基礎情報**

法人名	理事長名		
園名	園長名		
担当者氏名	担当者役職名		
所属支部/地域			
住所(郵便番号から)			
電話番号	FAX番号		
メールアドレス			
園児数/学級数	年長組	年中組	年少組
	学級数 人数	学級数 人数	学級数 人数
満3歳児	2歳児	1歳児	0歳児
学級数 人数	学級数 人数	学級数 人数	学級数 人数
保育者数	人	職員数	人

イーセック  
2021年度ECEQ®申込期限 2020年 12月14日 (月) FAX送信先: 大私幼事務局 (06-6351-5587)

実施園と実施時期、  
担当コーディネーターの調整

ECEQ®-Co養成講座受講生の所属園  
は優先して選定

実施数に余裕がある場合は、  
自由枠の園も実施可能

希望する実施時期や

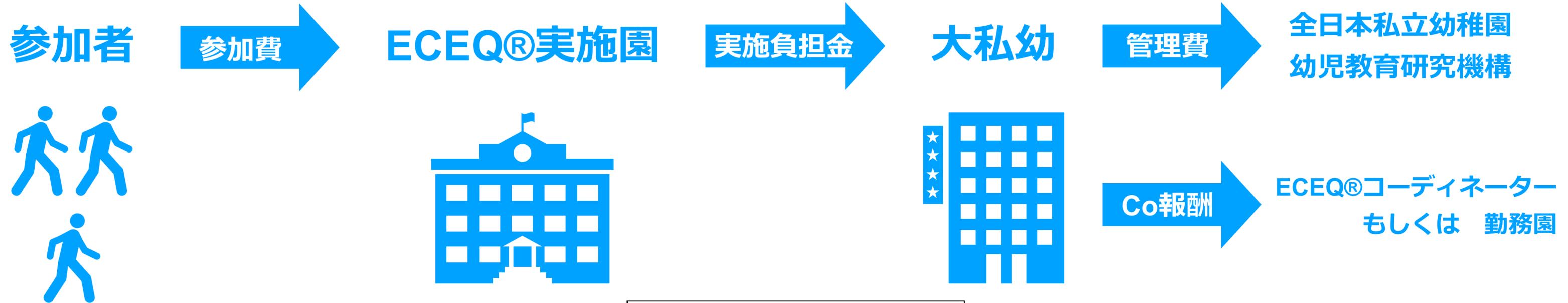
希望するECEQ®-Coを考慮して調整

# 2-1. 実施の質の向上

# ECEQ®の実施体制の充実



2020年6月 大私幼理事会で審議→承認可決



参加費は、目安を2,000円とする。  
 この金額は目安で、上限も下限も定めない。  
 参加受付と参加費徴収は、実施園が行う。

実施負担金には、  
 ・ 事務手数料  
 ・ (公財)機構に支払う徴収金  
 ・ Co報酬  
 が含まれる。  
 この金額は、  
 ECEQ®コーディネーターの  
 派遣回数と派遣人数に応じて  
 変動する

Co報酬は、大私幼が支払う。  
 支払い先を  
 ECEQ®コーディネーター個人  
 にするか、勤務する法人や園  
 にするかは、  
 ECEQ®コーディネーターと  
 勤務園で協議の上、  
 決定してもらう。

## 2-1. 実施の質の向上 ECEQ®の実施体制の充実



ECEQ®メインコーディネータ	報酬*	¥30,000/派遣回数	交通費実費	報告書作成*	¥10,000
ECEQ®サブコーディネータ	報酬*	¥10,000/派遣回数	交通費実費		
(一社) 大私幼	事務手数料	¥10,000			
全日本私立幼稚園幼児教育研究機構	管理費	施設型給付園	¥50,000、私学助成園	¥10,000	

※全日本私立幼稚園幼児教育研究機構がECEQ®コーディネーターの報酬に関する規定等を設定し、それが目安ではなく絶対値として運用される場合は、その規定に従い変更する。

報酬は税込の金額。

法人/園に支払う場合は満額を支払い、ECEQ®コーディネーター個人に支払う場合は源泉徴収する。

# 2-1. 実施の質の向上 ECEQ®の実施体制の充実



## 施設型給付園

派遣回数→ ↓派遣人数	3回	4回	5回
2人	¥190,000	¥230,000	¥270,000
3人	¥220,000	¥270,000	¥320,000
4人	¥250,000	¥310,000	¥370,000

## 私学助成園

派遣回数→ ↓派遣人数	3回	4回	5回
2人	¥150,000	¥190,000	¥230,000
3人	¥180,000	¥230,000	¥280,000
4人	¥210,000	¥270,000	¥330,000

ケース1 A園 (派遣回数5回、派遣Co2人 → メイン兼任で分科会3つ)



→ 実施園負担は 270,000円+交通費実費。

ケース2 B園 (派遣回数3回、派遣Co3人 → メイン兼任で分科会3つ)



→ 実施園負担は 220,000円+交通費実費。

ケース3 C園 (派遣回数5回、派遣Co4人 → メイン専任で分科会3つ)



→ 実施園負担は 370,000円+交通費実費。

## 2-1. 実施の質の向上 ECEQ®の実施体制の充実

---



令和2年度公定価格(新制度幼稚園・認定こども園の1号)において、  
**施設関係者評価加算の充実**として、  
公開保育と学校関係者評価を組み合わせる場合の加算単価が増額され、  
コーディネーター等の委嘱費用を措置するとなっています。  
(自己評価を実施している園のみ)

見直し前単価:6万円/年

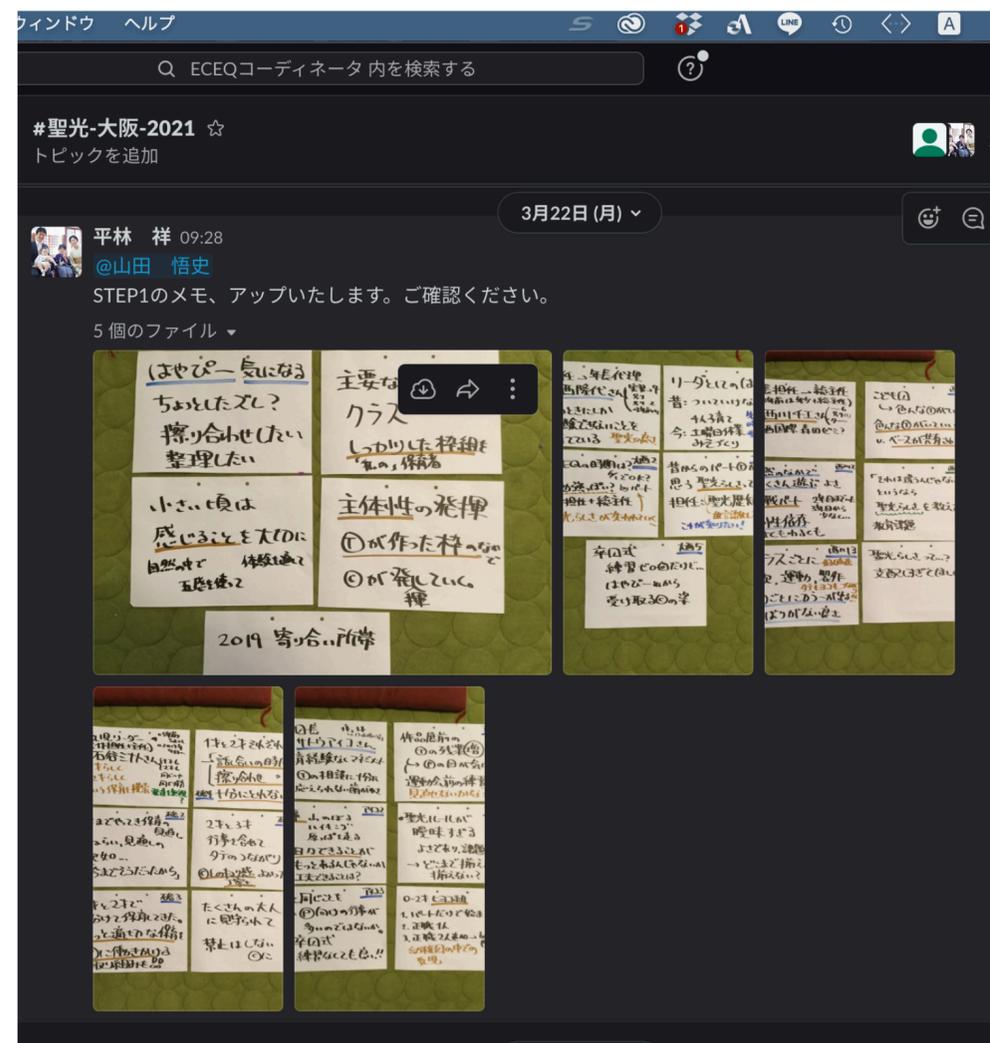
見直し後:+24万円/年程度

(既に加算済の園が充実後の加算を取得した場合)

# 2-2. 実施の質の向上 ECEQ®-Co向けの資料や研修の充実



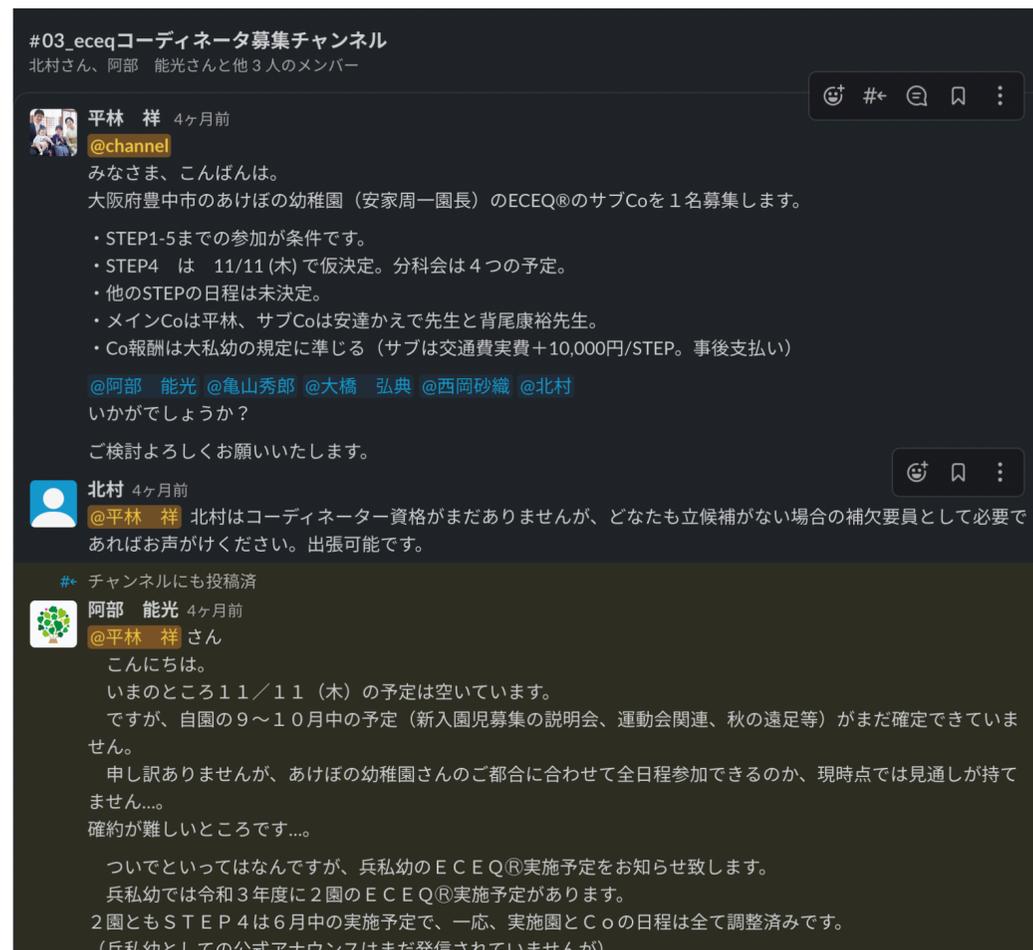
過去に実施したECEQ®の資料等を保管し、  
全CoがアクセスできるようにSlackを整備。



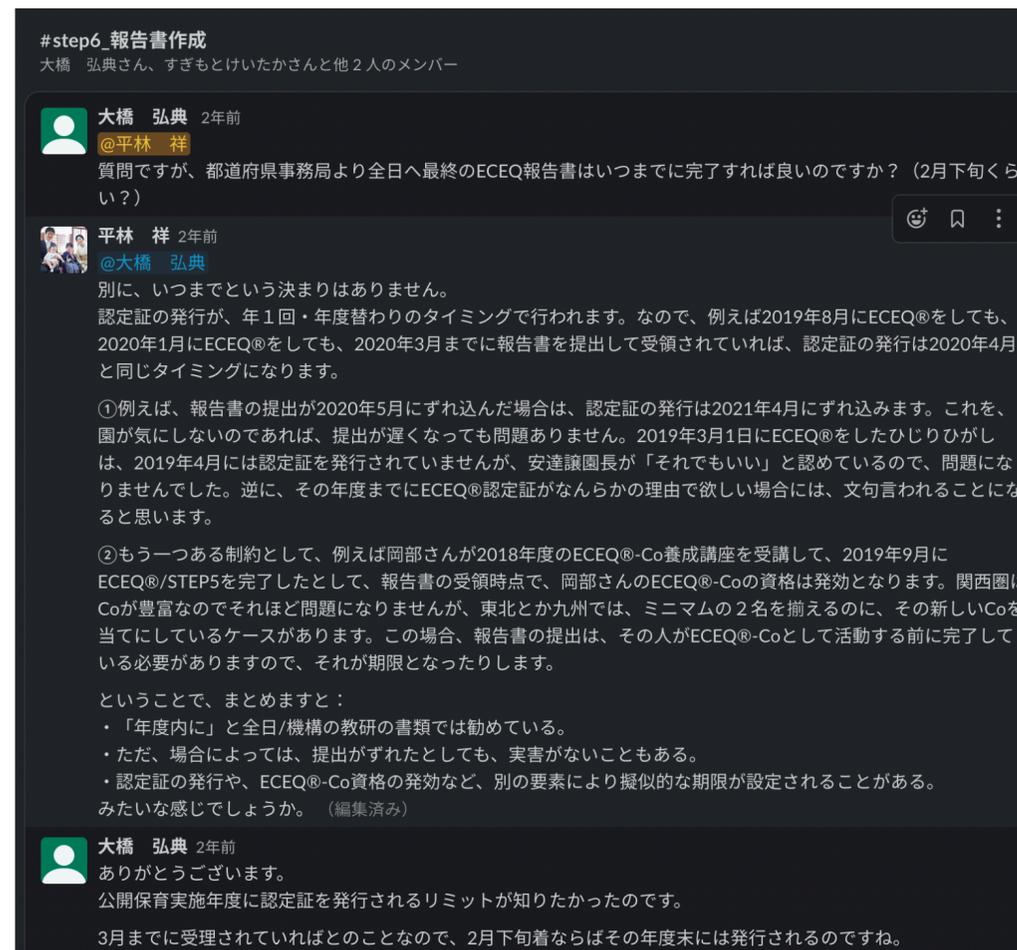


## 2-2. 実施の質の向上

全Coが参加し、交流・情報交換・問い合わせができる場として  
SlackとECEQ®-Co MLを整備。



Coの募集



報告書の提出時期

## 2-2. 実施の質の向上 ECEQ®-Co向けの資料や研修の充実

---



- 大阪府で実施する ECEQ® の報告書は、全てSlackとMLで共有する。  
報告書自体の質を高めるとともに、  
メイン未経験Coに報告書の書き方/修正の仕方を示すため。
- 初心者/初級者Co向けにサブCoに特化した研修を提供。  
ワークや分科会での司会や書記の演習を実施。  
各STEPでのワーク設計等は省く。
- 初級-中級者Co向けに、メインCoに特化した研修を企画し実施する予定。
- 保育ファシリテーター研修(4h×5回)も別途毎年実施。

## 2-2. 実施の質の向上

## ECEQ®-Co向けの資料や研修の充実



### 初心者/初級者Co向け サブCo研修

1. アイスブレイク  
(Coとしての自分の開示とフィードバック)
2. STEP1-5におけるサブCoの心得  
(先輩Coからの助言)
3. 模擬分科会の実施  
(司会と書記、参加者役を順に)



イーセック

## 2-2. 実施の質の向上

ECEQ®-Co向けの資料や研修の充実

---



初級-中級者Co向け    メインCo研修

1. 手続き研修
2. STEP2ネタ研修

# 3. 加盟園への周知

## 実態の記録と配信、説明会や研修の実施



### ECEQ®関連の動画の作成と配信

再生リスト

<https://youtube.com/playlist?list=PLGEMFkTilQtBvugqBNc-hfeRkXmcmBXwG>



1. ECEQ®の開発、制度的な位置づけと意義
2. ECEQ®のSTEP1-5 の説明
3. 大私幼におけるECEQ®の実施申請手続き
- 4-10. ECEQ®実施園インタビュー  
(園長編、職員編)

### ECEQ®関連の研修の実施

2019/02/18

大私幼・設置者園長研修

2019/03/28

大阪府私立幼稚園教員研究大会

2021/02/15 - /22

大私幼・設置者園長研修オンライン

2021/03/08 - /31

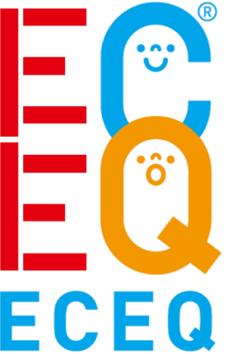
大阪府私立幼稚園教員研究大会オンライン

2021/08/10 - 10/22

大私幼・免許状更新講習オンライン・選択6h

# 3. 加盟園への周知

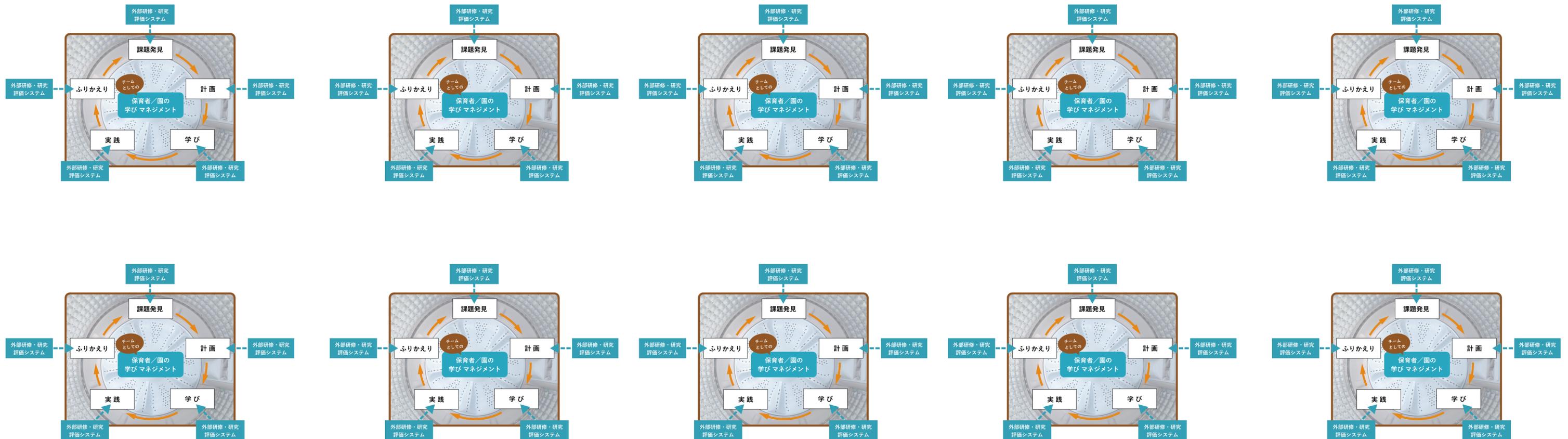
# 実態の記録と配信、説明会や研修の実施



## 大私幼概念図でいくと...

イーセック

### ECEQ®通して、各園の内部でのグルグルが、さまざまな園で起きていく！

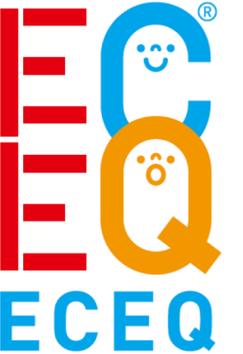


口頭発表 I-4

**保育者・園長が主体的に学び続けるための  
研修・研究・評価への取り組みについて  
～学びを止めない～**

**【評価チーム・OPARK編】**

# 【評価チーム・OPARK®編の概要】

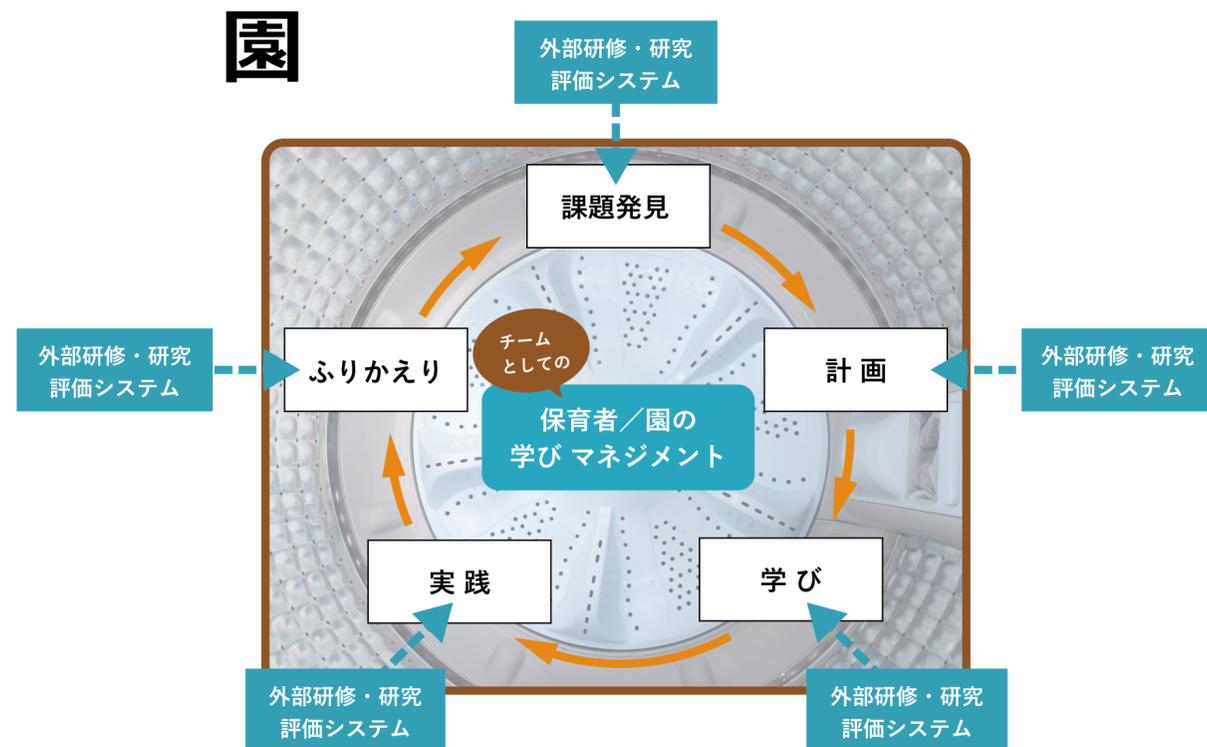


大私幼概念図でいくと…

オパーク

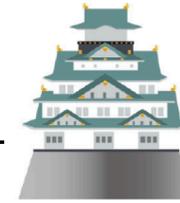
OPARK®というのは

1. グルグル自体
  2. グルグルをまわす資源
  3. グルグルに投入する資源
- を自己評価し、ふりかえり、整備するためのツールや機会を提供するシステム



オ パ ー ク

# OPARKとはなんぞや！？



OPARK

大阪府幼児教育・保育  
質向上支援システム

オ パ ー ク

## OPARK: Open Pre-school Accreditation Framework

【名称】 大阪府幼児教育・保育質向上支援システム

【目的】 大阪府内の幼児教育・保育の質を向上させる「システム」を作ること

【特徴】 ① 園評価と研修をセットにして、園の質向上を継続的に行う

② 各園でリーダーシップとマネジメントが適切に発揮されることを保障することを通して、保育の質の向上に働きかける

過去の発表資料

2020/11/25 オンライン勉強会：<https://youtu.be/ZuDqTgTHleA>

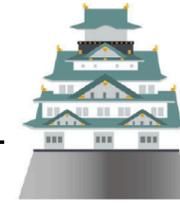


2021/05/15 日本保育学会第74回大会



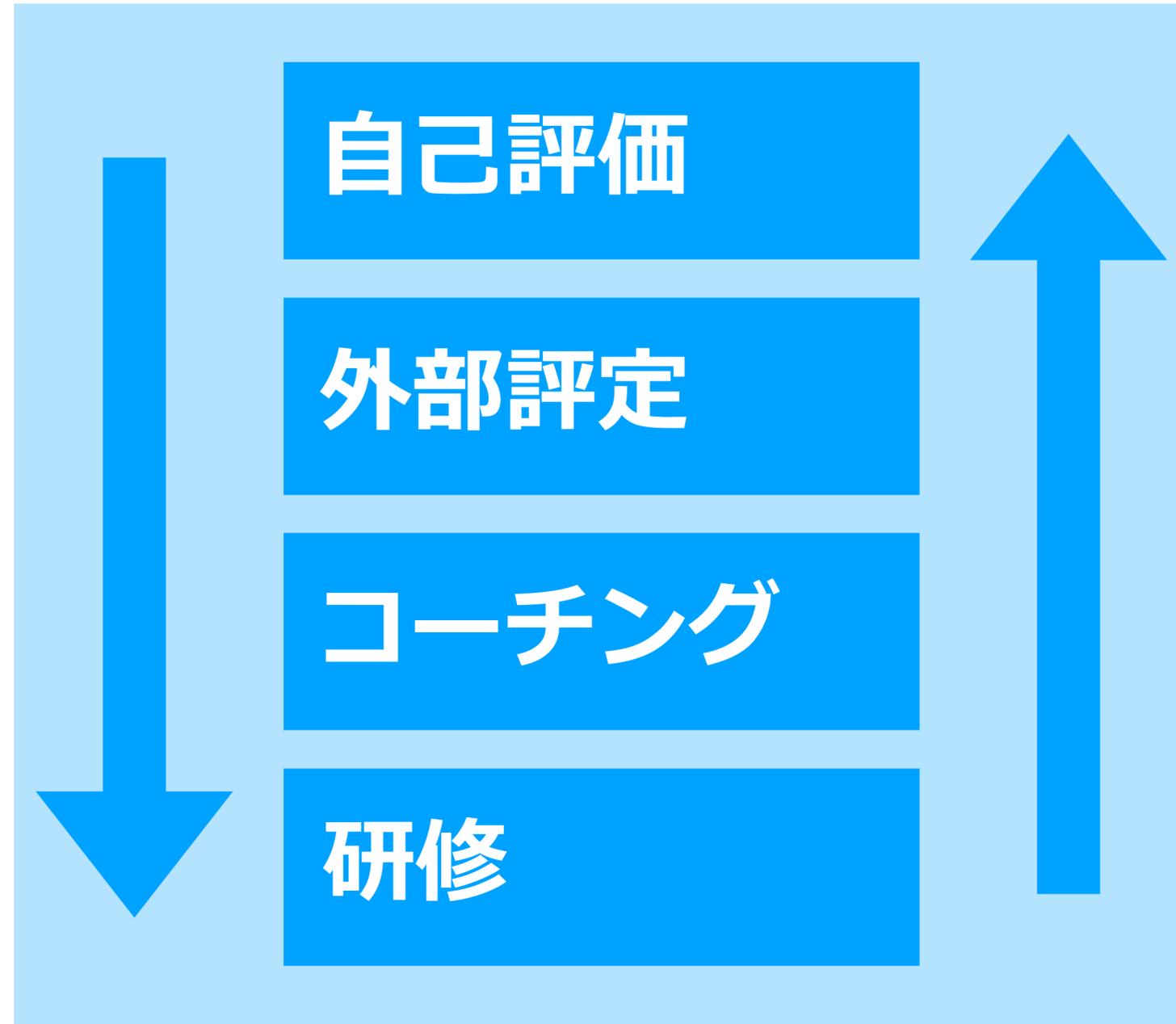
自主シンポジウム J-A-3 事前投稿動画 [https://youtu.be/aG3d2Sc\\_d28](https://youtu.be/aG3d2Sc_d28)

# OPARKとはなんぞや！？



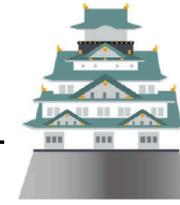
リーダーシップと  
マネジメントについて

評価とコーチング、  
研修までを一体的に  
実施することを通じた  
質の維持・向上を図る



オパーク

# OPARKとはなんぞや！？

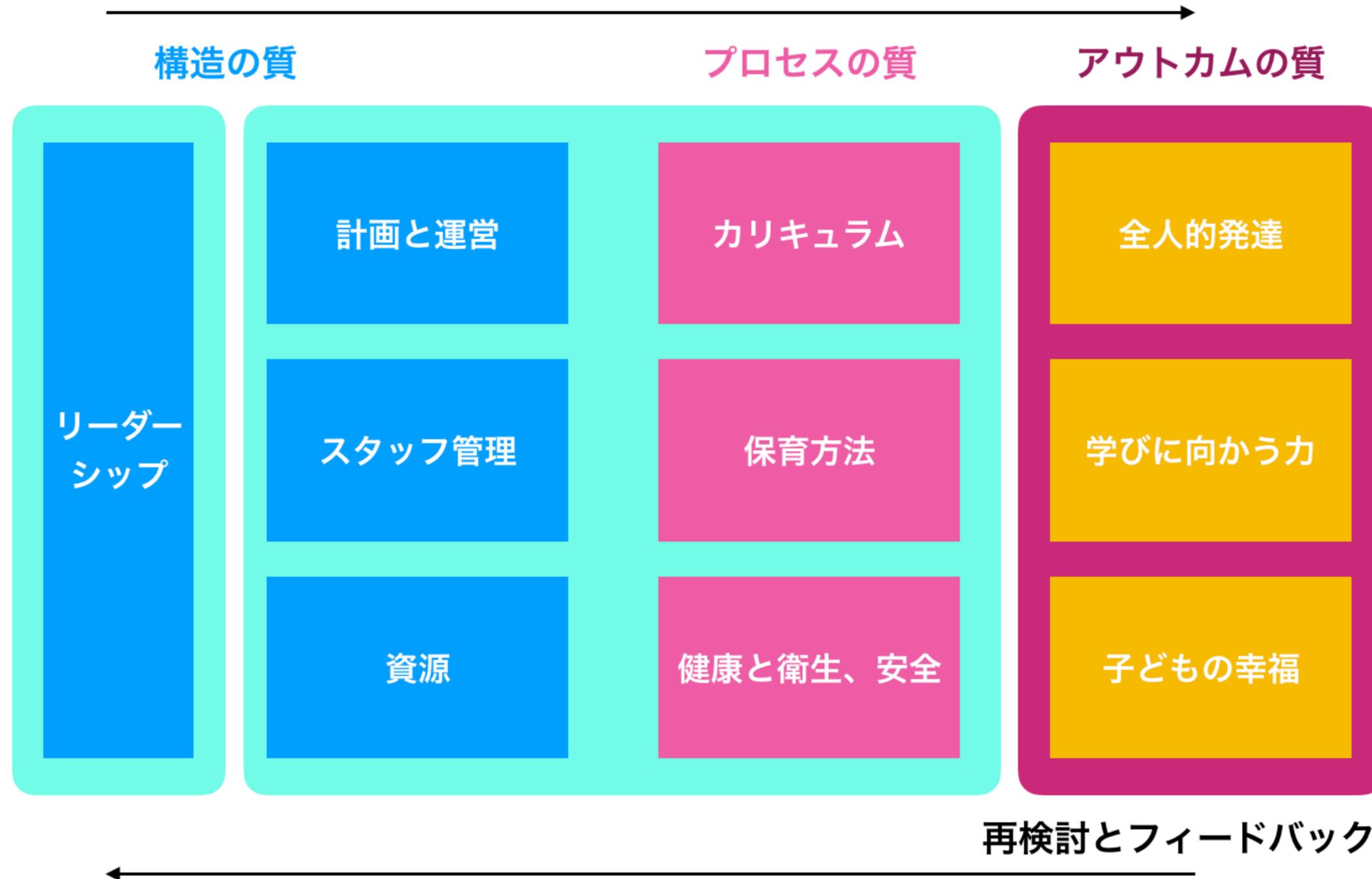


OPARK

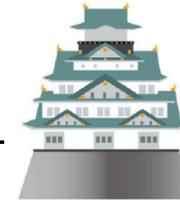
大阪府幼児教育・保育  
質向上支援システム

## シンガポールのSPARKの質評価モデル

モニタリングと評価



# OPARKとはなんぞや！？



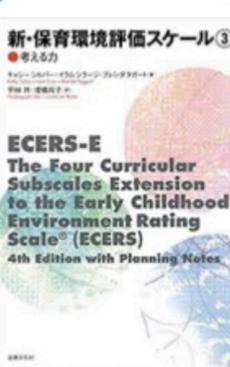
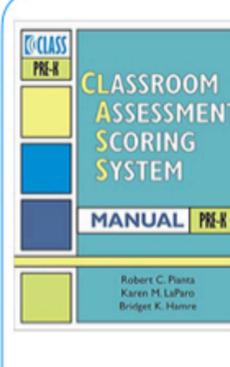
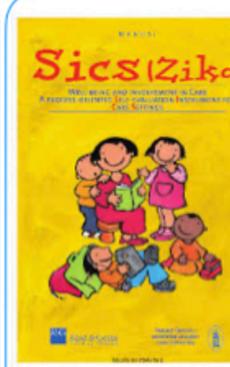
# OPARK

大阪府幼児教育・保育  
質向上支援システム

## 「保育の質」評価のための主な尺度

OECDは、保育の質を以下の6つに分節化して捉える観点を提示した：「志向性の質、構造の質、教育の概念と実践の質、過程の質、実施運営の質、子ども成果の質」(OECD, 2006)

ただ、保育の質の概念は相対的である。それぞれの質尺度には開発者の質の概念や保育理念が反映されており、どの尺度を使うかという選択は、換言すれば、何を質と考えるか、保育の質としてどの側面に重きを置くかの問いである。(秋田・佐川, 2011)

 <p><b>ECERS-E</b> 文字と言葉・数量形・科学・多様性の環境の質の評価</p>	 <p><b>MOVERS</b> 体を動かす遊びのための環境の質の評価</p>	 <p><b>SSTEW</b> ともに考え、深めつづけることと情緒的な安定・安心の質の評価</p>	 <p><b>CLASS</b> 保育者の関わり の質の評価</p>	 <p><b>SICS</b> 保育プロセス の質の評価</p>	 <p><b>PAS</b> <b>SPARK</b> <b>OPARK</b></p> <p>リーダーシップ・マネジメントの質の評価</p>
 <p><b>ECERS-3</b> <b>ITERS-3</b>      総合的な保育環境の質の評価</p>					
 <p><b>ECEQ</b> 学校評価における自己評価支援</p>	 <p>CEDEP実施調査「ECEQ®の質的検証」</p>	 <p>ECEQ®紹介動画集</p>	 <p>学校評価支援研修</p>		

# OPARKスケール (ver. 1.0)



表1 サブスケール【x】、項目x.y、指標X.

【1】リーダーシップ	【2】計画と運営	【3】スタッフ管理	【4】家庭や地域との連携
<b>1.1 方向付けのリーダーシップ</b>	<b>2.1 短期的・長期的計画</b>	<b>3.1 新任者と配置</b>	<b>4.1 家庭との連携</b>
A. 園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることの理解	A. (園の) 自己評価	A. 新任保育者研修	A. 保護者との連携
B. 園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることの伝達	B. 目標設定	B. メンターシップ	B. 家庭と園の連続性の促進
C. 園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることの実行	C. アクションプランの作成	C. スタッフ配置	C. 相談の受け入れ
<b>1.2 カリキュラム・マネジメントにおけるリーダーシップ</b>	<b>2.2 園の年間計画と実施</b>	<b>3.2 専門性の向上と自己評価</b>	D. 子育ての支援
A. カリキュラム・マネジメントにおける園長・主任等の役割	A. 年間計画の作成	A. 専門性の向上	<b>4.2 小学校・地域との連携</b>
B. 保育室の観察	B. 年間計画の実施	B. (保育者の) 自己評価	A. 小学校との接続
C. 保育者の主体性を育てる	C. 一人一人の学びを大切にする	C. 正当な評価	B. 地域の資源の活用
		<b>3.3 保育者の働きやすさ</b>	C. 学生の実習・インターンシップ
		A. 勤務環境	
		B. 雰囲気づくり	

# 現地調査の実施



表1 調査対象と調査日、調査したサブスケール一覧

	A園	B園	C園	D園	E園	F園	G園	H園	I園	J園	K園	L園	M園	N園
調査日	2018 6/15	2018 6/29	2018 7/11	2018 8/10	2018 10/5	2018 10/18	2019 3/25	2019 3/29	2019 6/24	2019 6/27	2019 7/1	2019 7/5	2020 3/23	2020 3/27
調査したサブスケール														
【1】リーダーシップ		○		○	○		○	○					○	○
【2】計画と運営		○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
【3】スタッフ管理		○		○		○	○	○	○				○	
【4】家庭や地域との連携	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○

調査対象は、幼保連携型認定こども園10園、幼稚園型認定こども園3園、私立幼稚園1園の計14園で、調査日は2018年6月から2020年3月である。時間の制約などにより、調査した園によって調査したサブスケールは異なった(表1)。

調査方法は、<sup>オパーク</sup>OPARK実行委員会の現地調査チームによる資料の確認と聞き取り調査である。調査内容は、<sup>オパーク</sup>OPARKスケールに対応する各園の事例の収集である。<sup>オパーク</sup>OPARK実行委員が、収集した事例を<sup>オパーク</sup>OPARKスケールの4つのサブスケールと9つの項目、27の指標、81の水準と照らし合わせ、分類を行った。

# 現地調査の結果



## 表2 収集した事例(園別)

	A園	B園	C園	D園	E園	F園	G園	H園	I園	J園	K園	L園	M園	N園	計
収集した事例数	16	41	2	18	0*	0*	17	22	8	7	16	7	17	24	195

\*現在、分析検討中のため、今回は対象外とした。

現時点で、14園から計195事例を収集している(表2)。

収集したものの整理できていないもの、十分な情報がなく分類できていないものは除いた。続いて、

収集した事例を、その内容や目的、対象、用途などによって<sup>オパーク</sup>OPARKスケールの指標と対応させた。

その結果、4つのサブスケールと9つの項目、27の指標に対応する事例が確認された。また、81の水準のうち、80に対応する事例が確認された。

一つの事例が対応する指標の数は、最も多いもので13、最も少ないもので1で、平均3.1であった。

詳細は、以下を参照 [平林祥・岩淵善美・廣瀬聡弥・埋橋玲子（2020）大阪府幼児教育・保育質向上システム\(OPARK・オパーク\)の開発のための私立幼稚園等における事例の分析. 日本乳幼児教育学会第30回大会研究発表論文集. 44-45](#)

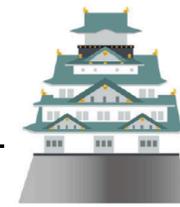
# D幼稚園で収集した事例



表3 D幼稚園で収集した事例の分類 (項目1.1 を中心に)

事例	1.1 : A2	A4	A6 : B2	B4	B6 : C2	C4	C6 : その他のサブスケール/項目/指標/水準
コンセプトブック	✓	✓	✓		✓		4.1 A2, 4.2 C6
建学の精神・学園の理念・教育理念	✓						
入園希望者向け説明会			✓				4.1 A2
園長通信			✓				4.1 A2
親子体操		✓	✓				4.1 A2, B4
幕間大使		✓	✓				4.1 A2
新任研修		✓	✓				1.2 C6, 3.1 A2, A4, B2, C2, C6, 3.2 C4
家庭への個別の電話			✓	✓	✓		4.1 A2
教育課程							✓ 1.2 C2, 2.2 A2, A4, B2
年度末見直し会議							✓ 1.2 C2, 2.1 A2, A4, A6, C2, C4, 2.2 A2
エピソード					✓		

# D幼稚園で収集した事例



**OPARK**  
大阪府幼児教育・保育  
質向上支援システム

## 1.1 方向付けのリーダーシップ

### A 園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることへの理解

- A2 園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることが明文化されており、園長はそれをはっきりと語る事ができる。
- A4 園長は、保育者が園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることをしっかりとわかるような取り組みをしている。
- A6 園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることを、定期的に再確認している。

## 1.1 方向付けのリーダーシップ

### B 園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることの伝達

- B2 園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることを職員や保護者に伝えている。
- B6 保育者と子どもが、園の理念、使命とビジョン、大切にしていることがわかり、実践している。



## 1.1 方向付けのリーダーシップ

### C 園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることの実行

- C2 園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることは、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培うことに焦点を合わせている。

## 4.1 家庭との連携

### A 保護者との連携

- A2 園は、保護者に対して、保育内容の意義や目的について、機会のあるごとに伝え、理解と協力を求めている。

## 4.2 小学校・地域との連携

### C 学生の実習・インターンシップ

- C6 園は、実習・インターンシップ以外に幅広く学生が現場で学ぶ仕組みを構築している。

図1 D幼稚園のコンセプトブック

園としての子ども観と保育観を言語化し、保護者に大人として心得を示す内容(1.1 A2, 4.1 A2)。日本のナショナルカリキュラムである幼稚園教育要領等を基盤とし、その内容をより具体的な言葉で上げている(1.1 C2)。具体的に育てほしい子どものイメージや姿も事例として記載している(1.1 B6)。教職員が子どもの姿を五つの領域で見られる共通基盤になるとともに、保護者に幼児教育を通して目指す育ちを説明するツールとして利用される(1.1 A4, B2)。教育実習生への説明等にも利用されている(4.2 C6)。幼保連携型認定こども園になり、要領・指針の改訂/定もあったため、改訂作業を行った(1.1 A6)。

# D幼稚園で収集した事例



**OPARK**  
大阪府幼児教育・保育  
質向上支援システム

## 1.1 方向付けのリーダーシップ

### A 園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることへの理解

A4 園長は、保育者が園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることをしっかりとわかるような取り組みをしている。

## 1.1 方向付けのリーダーシップ

### B 園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることの伝達

B2 園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることを職員や保護者に伝えている。

## 1.2 カリキュラム・マネジメントにおけるリーダーシップ

### C 保育者の主体性を育てる

C6 園長・主任等は、保育者集団のなかに、専門性の向上を促す学び合い、支え合う文化を醸成する。

項目	担当者	実施日	実施場所	実施内容	実施状況
1. 園舎の案内	園長	1/10	園舎	1. フリーの仕事内容 決まりについて	完了
2. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	2. 決まりの仕方(他園)	完了
3. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	3. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
4. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	4. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
5. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	5. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
6. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	6. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
7. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	7. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
8. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	8. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
9. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	9. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
10. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	10. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
11. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	11. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
12. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	12. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
13. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	13. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
14. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	14. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
15. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	15. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
16. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	16. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
17. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	17. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
18. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	18. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
19. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	19. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
20. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	20. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
21. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	21. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
22. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	22. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
23. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	23. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
24. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	24. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
25. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	25. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
26. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	26. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
27. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	27. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
28. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	28. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
29. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	29. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了
30. 園舎の案内(園舎の案内)	園長	1/10	園舎	30. 決まりの仕方(決まりの仕方)	完了

図7 D幼稚園の新任研修計画

## 3.1 新任者と配置

### A 新任保育者研修

A2 新任保育者に対して基本的なオリエンテーションがある。  
A4 園には体系的な新任研修プログラムがある。

## 3.1 新任者と配置

### B メンターシップ

B2 新任保育者は、より経験のある保育者によって指導されている。

## 3.1 新任者と配置

### C スタッフ配置

C2 職務内容と責任が伝えられ、保育者たちに共通理解されている。  
C6 保育者の研修や休暇、予期しない欠勤のための取り決めがある。

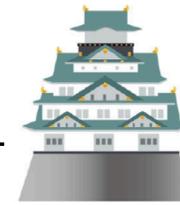
## 3.2 専門性の向上と自己評価

### C 正当な評価

C4 園には、保育者等のキャリアパスの仕組みがあり、全員によって共通理解されている。

園新任研修では、「園を知る・保育内容」「心得」「事務処理」「役割」「フリーの仕事内容」「書類」「その他」の7項目63事項について数回に分けて伝える(1.1 B2, 1.2 C6, 3.1 A2, A4, B2, C2, C6, 3.2 C4)。そのうち、保育内容については園長が担当し、コンセプトブックを使って研修を行っている(1.1 A4, B2)。その他の項目については、教頭や新任指導教諭が担当して行っている。(新任以外の教職員も対象となる園内研修等については、ここでは除外している)

# D幼稚園で収集した事例



**OPARK**  
大阪府幼児教育・保育  
質向上支援システム

## 1.1 方向付けのリーダーシップ

### C 園の理念や使命、ビジョン、大切にしていることの実行

C6 全体的な計画、教育課程は、少なくとも1年に1度は見直されている。

## 1.2 カリキュラム・マネジメントにおけるリーダーシップ

### C 保育者の主体性を育てる

C2 園長・主任等は、少なくとも月に一度は保育者と日々の実践をふりかえっている。

## 2.2 園の年間計画と実施

### A 年間計画の作成

A2 園のどの年齢についても年間計画がある。

A4 年間計画は、子どもの生活や発達を見通し、活動がそれぞれの時期にふさわしく展開されるようにねらいと内容が組織されている。

## 2.2 園の年間計画と実施

### B 年間計画の実施

B2 年間計画と関連を保ちながら、学期、期、月、週、日等の具体的な指導計画が作成され、幼児の生活に即して活動が行われている。

図9 D幼稚園の教育課程

領域とテーマ、発達課題、月例、子どもの具体的な姿を整理して記載している。前年度の子どもの姿に基づいて、年度末に教育課程を見直している(1.1 C6)。ただ、実際の姿は違っていたり、保育者の勤続年数や技量などによって変わるので、期案/月案の作成時に擦り合わせを行う(1.2 C2, 2.2 A2, A4, B2)。

# D幼稚園で収集した事例

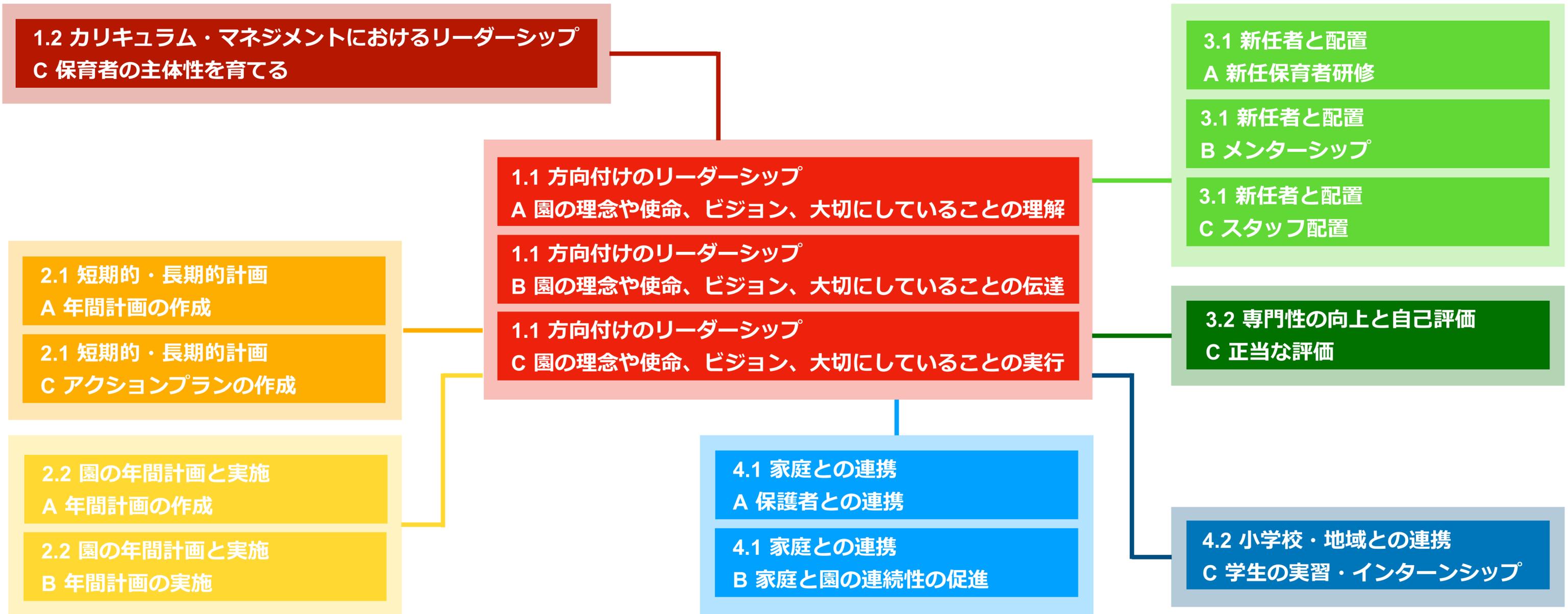


図12 D幼稚園で収集した項目1.1 に該当する事例の他の項目/指標とのつながり

# OPARK実行委員会・メンバー(あいうえお順)



**OPARK**  
大阪府幼児教育・保育  
質向上支援システム

## 制度チーム

安家 周一 (あけぼの幼稚園)

安達 譲 (せんりひじり幼稚園)

友國 富夫 (熊野田幼稚園)

邨橋 雅広 (たちばな幼稚園)

原 史臣 (暁幼稚園)

水谷 豊三 (日吉幼稚園)

## 指標作成/現地調査チーム

岡部 祐輝 (高槻双葉幼稚園)

北島 孝通 (庄内こどもの杜幼稚園)

杉本 圭隆 (むつみこども園)

中村 妙子 (常磐会短期大学)

西岡 真希 (新光明池幼稚園)

山田 悟史 (金田幼稚園)

山田 千枝子 (御幸幼稚園)

背尾 康裕 (念法幼稚園)

## 研究チーム

埋橋 玲子 (同志社女子大学)

廣瀬 聡弥 (奈良教育大学)

岩渕 善美 (平安女学院大学)

中橋 美穂 (大阪教育大学)

## 座長

平林 祥 (ひかり幼稚園)